啓林館　Revised LANDMARK English Communication Ⅱ (コⅡ338)

観 点 一 覧

◆内容の取扱い

1. 難易度や構成に配慮してあり，教師にとって教えやすく，生徒にとって学びやすい教科書になっている。

2. 古今東西の話題から，生徒が自ら積極的に関与できる題材が厳選してあり，生徒の英語力向上や精神的な成長に寄与できるようになっている。

3. 説明文・プレゼンテーション・手紙・物語など，さまざまな言語の使用場面に応じた英文が用意してある。

4. 英語の4技能を統合的に活用できるよう工夫してあり，生徒が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養えるようになっている。

◆単元の構成・配列および分量

1. 本課を10課，読み物(Reading)を3課設けてある。

2. 巻頭に導入レッスン(Preparatory Lesson)を1課，本課の合間に音声学習(Tips for Listening)を4課設けてある。

3. 各課の扉ページは写真・図・英問・キーワードで構成され，英語による導入を行いやすく工夫してある。

4. 本文は習熟度に応じた700～900語の標準的な英語で構成され，写真や図を交えて理解しやすく提示してある。

5. 新出語および新出文法・表現などを側注と脚注に分けてわかりやすく提示してある。さらに重要語を青字にしたり，英単語にまつわるコラム(TRIVIA)を設けるなど，語彙学習への工夫がしてある。

6. 課末課題は①内容理解(Comprehension) ②語彙・表現(Vocabulary & Expressions) ③文法(Grammar) ④コミュニケーション活動(Communication)に分けて配列され，目的に応じて使用できるようにしてある。